

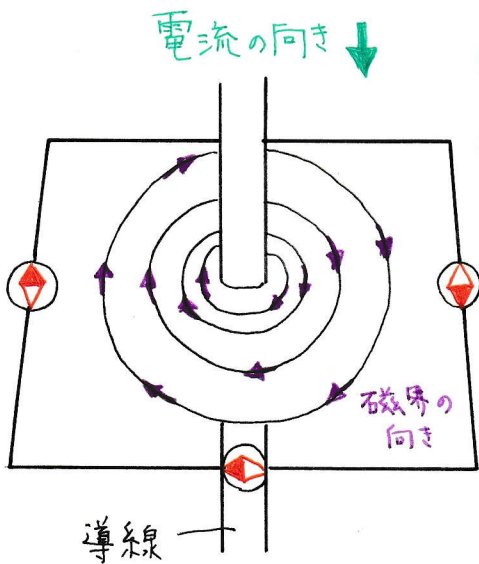
# 電流による磁界

まっすぐな導線に電流を流すと、導線を中心とした同心円状の磁界ができる。

磁界の向きは電流の向きによって決まり、下向きに電流を流すと、まわりには時計(右)まわりの向きの磁界ができる。

この磁界は電流が大きいほど強く、また導線(中心)に近いほど強く、磁界の間隔も狭くなっている。導線から離れるほど弱くなっている。

電流がつくる磁界の向きは右ねじで考える。

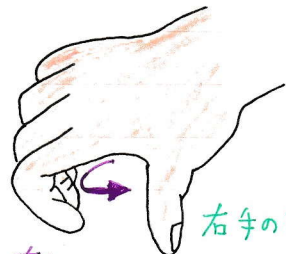


電流の向き = ねじの進む向き = 親指の向き  
磁界の向き = ねじを回す向き = 4本指の向き

ねじを回す向き(時計まわり)



ねじの向き ↓



右手の親指の向き ↓

右手の4本指の向き

電流の向きが ↑ 上向きになると、逆に反時計(左)まわりになる。